

2005年度 生理学研究所研究会

「生体膜輸送分子複合体の分子構築と生理機能」

日時：2005年 7月 19日（火）～ 20日（水）

会場：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター

提案代表者：金井好克（杏林大学医学部）

所内対応者：井本敬二（神経シグナル研究部門：0564-59-5886；keiji@nips.ac.jp）

プログラム

7月19日（火）12：30～18：20

12：30-12：35 はじめに

12：35-13：10 日比野浩、石井優、倉智嘉久（大阪大学大学院医学系研究科）

グリア細胞の K^+ ・水輸送を担うチャネルの局在制御とその分子基盤

13：10-13：45 内田信一、蘇原映誠、頼建光、桑原道雄、佐々木成（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）

AQP2水チャネル変異による優性遺伝形式腎性尿崩症モデルノックインマウスの作成とその解析

13：45-14：20 金井好克、安西尚彦、平田拓、Arthit Chairougrua（杏林大学医学部）

ヘテロ二量体型アミノ酸トランスポーターの局在を決定する因子

14：20-14：35 コーヒーブレイク

14：35-15：10 宮本賢一、竹谷豊、伊藤美紀子、瀬川博子（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部）

無機リン酸トランスポートソームの機能制御とその破綻

15：10-15：45 伊藤晃成、鈴木洋史（東京大学医学部附属病院薬剤部）

肝細胞胆管側膜上に発現されるABCトランスポーターの機能と局在変動

15：45-16：20 寺崎哲也、大槻純男（東北大学未来科学技術共同研究センター・大学院薬学研究科）

脳内エネルギーと脂質恒常性における脳関門輸送関連蛋白の役割と連携

16：20-16：35 コーヒーブレイク

16：35-17：10 山本伸一郎、原雄二、森泰生（京都大学大学院工学研究科）

免疫応答細胞における酸化的ストレス感受性 Ca^{2+} チャネル TRPM2 の活性化機構および生理的役割

17：10-18：45 古川哲史、白長喜、黒川洵子（東京医科歯科大学難治疾患研究所）

一酸化窒素による心筋イオンチャネル制御機構

17：45-18：20 平林 享、神作 愛、畑 裕（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）

腎臓糸球体スリット膜を支える分子複合体の解析

18：40～ 懇親会

7月20日（水）8：45～12：30

- 8：45-9：20 中西宏之（熊本大学大学院医学薬学研究部）
新しい微小管結合蛋白質による細胞の機能と構造の制御
- 9：20-9：55 末次志郎（東京大学医科学研究所）
IRSp53のRCBドメインによる細胞膜の変形機構
- 9：55-10：30 梶保博昭¹、堅田利明¹、仁科博史²（¹東京大学大学院薬学系研究科、²東京医科歯科大学難治疾患研究所）
小胞輸送系に介在する低分子量G蛋白質Rab5とその制御因子RINファミリー
- 10：30-10：45 コーヒーブレイク
- 10：45-11：20 根本知己¹、岸本拓哉^{1,2}、緒方衝^{1,3}、兒島辰哉¹、大嶋章裕¹、河西春郎^{1,2}（¹生理研・生体膜、²東大院・医、³防衛医大・病理）
多光子励起過程を用いた開口放出・溶液輸送機構の解析
- 11：20-11：55 楠見明弘（京都大学再生医科学研究所・工学研究科、科学技術振興事業団 ICORP 膜機構プロジェクト）
1分子ナノバイオロジーが明らかにする細胞膜のデジタル式信号変換機構
- 11：55-12：30 木下賢吾（東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター）
表面形状と物性から見た蛋白質間相互作用様式の予測法の開発